

学びの全体を見て



コントロールしよう！

学びを進める・学びを深める

計画に沿って実験する

- ・学習の手順を確認する
- ・実験結果を予想する
- ・実験する
- ・結果を記録する

実験がうまくいかなかったら

- ・うまくいかない理由を探しながら取り組む
- ・ほかのグループのようすを観察してみる
- ・ほかの方法を探す
- ・友達や先生に聞いてみる
- ・計画を見直す

- ・手順通りにできているかな？
- ・予想通りにうまくいきそうか。
- ・友達にも教えられるようにしよう。

- ・友達のやっていることを見せてもらおう。
- ・どうしたら空気の力がうまく使えるか考えよう。
- ・玉の違いでできよりが変わるかも。

くり返すことで
調整できる自分の学びを
よくなる!!

学習の見通しを立てる

- ・目標を定める
- ・実験の計画を立てる
- ・前の学習のふり返りから次の目標を立てる
- ・「わかっていること」「できること」を確認する
- ・ほかに応用できることを考える

学習をふり返る

- ・「今日の授業、どうだった？」と自分に質問する
- ・記録したことを確認する
- ・わかったorわからなかったところを理解し、その理由を考える
- ・クラスの中でおたがいにふり返る
- ・「次に気をつけること」を考える

- ・どうしたら、玉が遠くまで飛ぶ空気でつぼうが作れるの？
- ・空気でつぼうはこうだったけど、水でつぼうの場合はどうだろう？

- ・最初に自分が思っていたことと友達がやったことはちがっていたけど、先生のヒントと結びついて、空気のことがわかってきた。
- ・「記録しておく」といいんだ。

自分の学びをコントロールする

小学校中学年以降の最近の教科書には、学習の進め方を説明しているページがあります。そこには、「問いをもつ」「学習を進める」「ふり返る（新たな問題を見つける）」などの段階が示されています。これらの段階に沿って進める学習を友達と比べて確認したり、方法を変えてみたりしながら自分で進めていくことを自己調整学習と呼びます。こうした学習を繰り返していくことで、学びを自分で調整していくことができるようになっていきます。はる君は、友達の作っている空気でつぼうを見て、自分の作り方を変えて目標を達成しました。それぞれ自分で考えた「問い」に対して別々の方法で、考え、実験し、調べることをしながら、学習目標を達成するのです。このような、学習全体をふり返って、次の学習に活かしていくことができる力を身につけるように、学校のカリキュラムは組まれています。